特定非営利活動法人NSCAジャパン
〒270-0152 千葉県流山市前平井85　TEL：04-7197-2064　FAX：04-7197-2075
URL：https://www.nsca-japan.or.jp　E-mail：nscajapan@nsca-japan.or.jp

NSCA ジャパン CEU プロバイダープログラム

継続教育活動単位（CEU）認定セミナー主催者申請手続き案内

内容

■ 申請前の確認事項 2
- 【申請日について】 2
- 【開催予定のセミナーの概要について】 4
- 【開催予定のセミナーの内容について】 4
- 【その他】 5

■ 申請手順 6
- I.NSCA ジャパン主催イベント実施日の確認 6
- II.申請書類の送付 7
- III.申請料金の振込み 8

■ 申請結果のお知らせ 12
- ●承認の場合 12
- ●非承認の場合 12

■ セミナー開催～終了後の手続きまで 13
- I.セミナー開催時の手続き 13
- II.セミナー終了後の手続き 13

■ 継続教育活動分野 14
- ①クライアントに対する面談と評価 14
- ②テストと評価 14
- ③プログラムプランニング 14
- ④プログラムデザイン 14
- ⑤エクササイズサイエンス 15
- ⑥エクササイズテクニック 15
- ⑦栄養学 16
- ⑧スポーツ心理学 17
- ⑨安全性、緊急時の手順、および法的諸問題 17
- ⑩組織と運営 17
- 【補足表】 18

申請前の確認事項

申請前に以下の確認事項をご確認ください。この確認事項に同意いただけない場合や内容に沿わないセミナー*につきましては、受理できない場合がございますことをご承知おきください。

*ウェビナー、フォーラム、カンファレンス等を含む。

【申請日について】

- 申請書類の提出は、**セミナー実施日の１ヶ月前まで**に行ってください。提出期限を過ぎての申請は、受理できませんのでお気をつけください。（申込み完了から審査結果の通知まで 2～3 週間かかる場合がございます））
- 実施形式（来場形式やオンライン形式）・実施地域等に関わらず、NSCA ジャパン主催イベントと同日に開催するものは不可とします。NSCA ジャパン主催イベントの開催予定スケジュールは、以下「プロバイダープログラムのご案内」のページに掲載の「NSCA ジャパン主催イベントカレンダー」を申請前に必ず確認するようにしてください。ただし、プロバイダープログラム申請後または承認後に、NSCA ジャパン主催イベントが設定された場合は、承認の取り消しは行いません。

  https://www.nsca-japan.or.jp/05_seminar/provider_pgm.html

  ※申請日はメール受信日とします。もし告知日*（NSCA ジャパン主催イベントカレンダー更新日）とメール受信日が同一日の場合、申請を優先します。

  *更新日とは「NSCA ジャパン主催イベントカレンダー」内にあるイベントに表記されている「（〇/〇追加）」を指します。

  ※セミナー開催日が複数日の場合、開催日初日が NSCA 主催イベントと同日の場合、不受理とします。2 日目以降が NSCA 主催イベントと同日の場合は受理します。次頁の例をご参照ください。

例 1）2 日間開催のセミナーの開催日初日が、NSCA ジャパン主催イベントと同開催日の場合

・セミナー開催日「**2022 年 6 月 12 日（日）**＆6 月 13 日（月）」

例 2）2 日間開催のセミナーの開催日初日以外が、NSCA ジャパン主催イベントと同開催日の場合

・セミナー開催日「2022 年 6 月 11 日（土）＆**6 月 12 日（日）**」

【開催予定のセミナーの概要について】

- プロバイダープログラムの申請には、休憩時間を除いた 1 時間あたりの受講料金が **1,000 円（税込）以上**のセミナーであることが必要です。1,000 円（税込）未満のものにつきましては、申請対象とはなりません。
- 申請対象となるセミナーの実施形式は以下の通りです（オンライン形式のセミナーも申請対象になりました）。

  A) 来場形式

  B) オンライン形式：ライブウェビナー配信（ライブストリーミング、録画映像のウェビナー*含む）
  *同じ録画映像を 2 回以上申請される場合、担当される講師への CEU 付与は 1 度のみとなります。

  C) ハイブリッド形式：来場形式＋オンライン形式

  ※来場形式とオンライン形式のハイブリッド形式のセミナーを申請される場合は、「来場形式」＋「オンライン形式」の両方の申請料金が必要となります。

  ※録画映像を一定期間販売するものは申請対象外ですので、ご承知おきください。

  ※オンライン形式につきましては、受講確認ができる仕組みがあることが必要です。（アーカイブ視聴の特典がある場合、このアーカイブ視聴も受講確認の仕組みとして含みます。）

【開催予定のセミナーの内容について】

- セミナーの内容が、NSCA が定める継続教育活動分野のものであることが必要です。

  （「継続教育活動分野」の詳細については、P14~P19 をご覧ください。）
- 受験対策講座や試験は申請対象にはなりません。
- 講師は、以下 4 項目に極力合致する方のご担当が望ましいです。

  講師経歴で申請を却下することはありませんが、講師経歴書への虚偽の内容、あるいは講師の問題行動・発言（倫理的観点）が発見された場合は、申請の却下となる場合があります。（申請が却下となった場合には申請料金は返済いたしません。）

  1. NSCA 認定資格の保持者

2. 他団体認定資格（国家資格等）の保持者
3. 講演テーマに沿った学位（学士／修士／博士）の保持者
4. 実務経験者（過去・現在の所属先での活動、イベントでの講師実績、トレーニング指導実績等）

【その他】

- 本プログラムの承認を受けますと、NSCA ジャパンウェブサイトに掲載されます。掲載される際の表示は、以下のように「団体名」を使用したものになりますのでご承知おきください。

  【表記】

  「団体名セミナー（●●●●系）*」

  例）「NSCA ジャパンセミナー（ストレングス系）」

  *「●●●●系」の種類は、「申請書類」にてご案内いたします。

- プロバイダーセミナー参加者の意見を収集する意見箱を設置することといたしました。「良かった点」と「気になった点」を収集いたしますが、もし本プログラムに申請する上で改善が必要だと思われる意見が多数挙げられた場合、状況確認をさせていただき、改善をお願いする場合がございます。改善をお願いしたにも関わらず、改善が見受けられなかった場合は、以下の内容を適応することをご承知おきください。

  1 度目：注意（面談等実施）
  2 度目：1 年間の受付停止（最新の申請受付日から 1 年間）
  3 度目：3 年間の受付停止（最新の申請受付日から 3 年間）

- 本制度の承認を受けたセミナーについて、自身のウェブサイトに表記する際は、以下のようにご記載ください。

  ① セミナー名として明記する場合は、以下のいずれかの名称を使用してください。

  - NSCA ジャパン CEU プロバイダーセミナー
  - NSCA ジャパン CEU プロバイダープログラム承認セミナー

  例）**OK**：NSCA ジャパン CEU プロバイダーセミナー「スクワット実技講習会」

  NG：NSCA セミナー「スクワット実技講習会」

② 文章として使用する場合は、「CEU プロバイダープログラムの承認」であることが分かるように記載してください。

例）**OK**：このセミナーは、NSCA ジャパン CEU プロバイダープログラムの承認を受けたセミナーです。

NG：このセミナーは、NSCA ジャパンの承認を受けたセミナーです。

③ 継続教育単位（CEU）を表記する際は、「カテゴリー」および「単位数」を明記してください。

例）**OK**：NSCA の継続教育単位として、0.2 CEU（カテゴリーA）が付与されます。

OK：NSCA：0.2CEU（A）

NG：NSCA：0.2CEU

注）以上の表記は承認を受けなければ使用できません。承認を受ける前に、以上の表記の使用が確認された場合、「NSCA ジャパン CEU プロバイダープログラム申請中」とご修正いただきます。

申請手順

I. NSCA ジャパン主催イベント実施日の確認

NSCA ジャパン CEU プロバイダープログラム案内ページにある「**NSCA ジャパン主催イベントスケジュール表**」を確認し、開催日が同日のセミナーの有無をご確認ください。NSCA ジャパン主催イベントと重ならない場合は、「Ⅱ.申請書類の送付」に移ります。ただし、この間、NSCA ジャパン主催イベントが入る場合がございますので、お早めにご申請ください。

※NSCA ジャパン主催イベントと重なる場合は、不受理となります。

II.　申請書類の送付

下記、必要書類 2 点を準備し、下記送付先に E-mail でお送りください。申請書類を受理しましたら、E-mail にて受理完了のお知らせをします。

送付先：

- NSCA ジャパン事務局 CEU 担当
- E-mail：ceu@nsca-japan.or.jp

※E-mail でのお手続きが困難な場合はご相談ください↓

04-7197-2064（平日 11:00～15:00）

① **CEU プロバイダープログラム申請書兼同意書**（以下、申請書）

申請書データ内にある申請書記入例のシートを参考にして「CEU プロバイダープログラム申請書兼同意書」をご記入ください。なお、同一内容のプログラムを、異なる日時、場所で繰り返し開催する場合でも、一開催ごとに申請書の提出が必要です。

② **講師経歴書**

実際の申請書データ内にある講師経歴書記入例のシートを参考にして、「講師経歴書」をご記入ください。

III. 申請料金の振込み

受理完了のお知らせを受け取りましたら、申請料金をお振込みください。申請料金のご入金が確認でき次第、審査を行います。

※申請料金は、セミナー内容の審査および手続きの手数料です。申請されたセミナーが承認されなかった場合、申請料金の返金はいたしません。また、いかなる理由があっても一度お振込みされた申請料金の返金はいたしません。

- **申請料金：**
  - **来場形式-1 プログラム 8,000 円（税込）**
  - **オンライン形式-1 プログラム 12,000 円（税込）**
  - **ハイブリット形式*-1 プログラム 20,000 円（税込み）**

    ***来場形式＋オンライン形式の複合**

    ※複数セミナーをご申請される場合、合算した申請料金をまとめてお振込みいただいて問題ございません。

注意）2023 年 10 月 1 日（日）以降の支払いの場合、以下の申請料金となりますので、お支払いの際はお気を付けください。

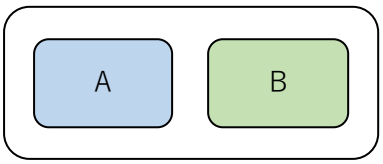
- **改定後の申請料金：**
  - **来場形式-1 プログラム 8,030 円（税込）**
  - **オンライン形式-1 プログラム 12,100 円（税込）**
  - **ハイブリット形式-1 プログラム 20,130 円（税込み）**

【プログラム数の数え方】

1 プログラムとは、1 回の募集受付で継続教育活動単位（CEU）を管理することのできる、「1 つのセミナー」または「複数のセミナー」のことを言います。例えば、同じ 1 日のセミナーでも、1 日単位で募集受付をする場合と、午前と午後で募集受付をする場合では、プログラム数は異なり、前者は 1 プログラム、後者は 2 プログラムと数えます。そして NSCA 資格認定者には、この 1 プログラムごとに CEU が付与されます。そのため、例えば「2 つ以上のセミナー」を 1 プログラムとして申請された場合、受講者はすべてのセミナーを受講しなければ、CEU は付与されません。

例 1）セミナーA・セミナーB をまとめて、1 プログラムとして申請する場合

1 プログラム

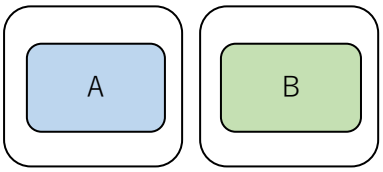


・申請料金：8,000 円×1 件＝8,000 円（税込）

・CEU 付与：「セミナーA」と「セミナーB」の両方に参加することで、CEU が付与されます。

例 2）セミナーA・セミナーB、それぞれを申請する場合

1 プログラム　1 プログラム

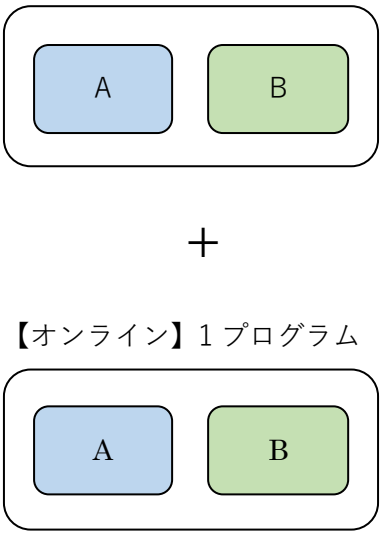


・申請料金：8,000 円×2 件＝16,000 円（税込）

・CEU 付与：「セミナーA」と「セミナーB」のどちらか一方に参加すると 1 プログラム分の CEU、両方に参加すると 2 プログラム分の CEU が付与されます。

例 3）セミナーA・セミナーB を 1 プログラムとして、ハイブリッド型で申請する場合

【来場】1 プログラム



【来場形式】

・申請料金：8,000 円×1 件＝8,000 円（税込）

【オンライン形式】

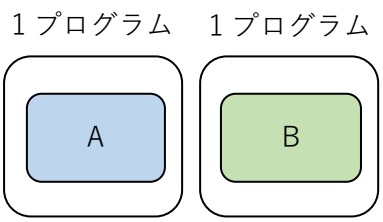
・申請料金：12,000 円×1 件＝12,000 円（税込）

⇒合計 20,000 円

※CEU 付与：「セミナーA」と「セミナーB」の両方に参加・視聴することで CEU が付与されます。（両形式の CEU をまとめて付与されることはありません。）

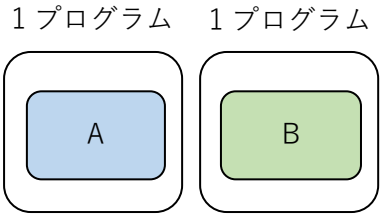
例 4）セミナーA・セミナーB、それぞれをハイブリッド形式で申請する場合

【来場】



＋

【オンライン】



【来場形式】

・申請料金：8,000 円×2 件＝16,000 円（税込）

【オンライン形式】

・申請料金：12,000 円×2 件＝24,000 円（税込）

⇒合計 40,000 円

※CEU 付与：「セミナーA」と「セミナーB」のどちらか一方に参加・視聴すると 1 プログラム分の CEU、両方に参加・視聴すると 2 プログラム分の CEU が付与されます。（両形式の CEU をまとめて付与されることはありません。ただし、同講座でなければ、両形式の CEU はまとめて付与されます。）

① 振込：以下の振込先から１つを選択しお振込みください。（振込手数料はご負担願います。）

【銀行】

[金融機関名] ゆうちょ銀行 [店名] 〇一九店(ゼロイチキュウ店)

[預金種目] 当座 [口座番号] 0039167

[口座名義人] NSCA ジャパン（エヌエスシイエイジャパン）

【郵便振替】

[郵便振替口座] 00100-6-39167 [加入者名] NSCA ジャパン

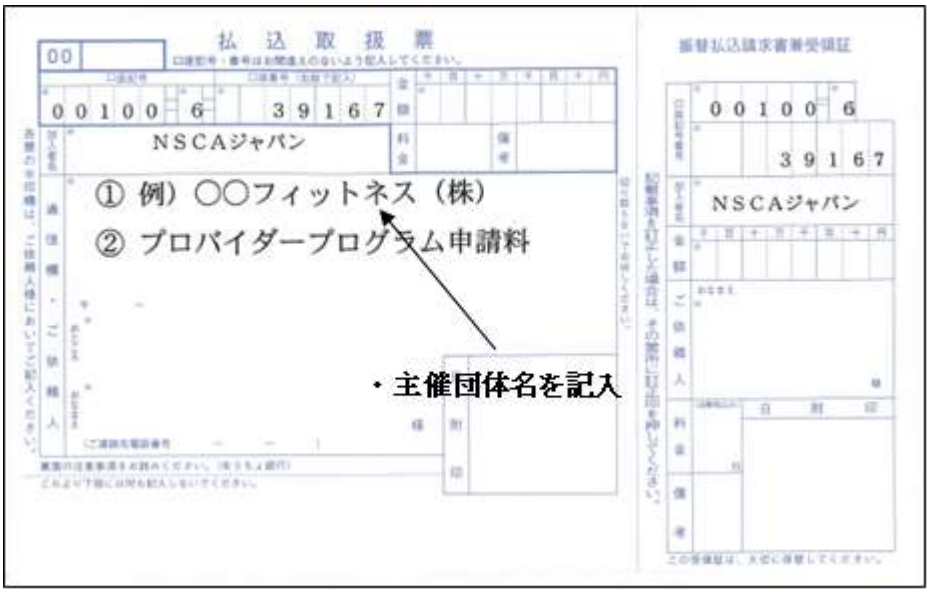
[通信欄] ①主催団体名 ②プロバイダープログラム申請料

[口座名義人] NSCA ジャパン（エヌエスシイエイジャパン）

＊【記入例】を参考にご入金ください。

（払込取扱票は郵便局に備え付けらえています。）

【記入例】



特定非営利活動法人NSCAジャパン
NSCA JAPAN NATIONAL STRENGTH AND CONDITIONING ASSOCIATION
〒270-0152 千葉県流山市前平井85　TEL：04-7197-2064　FAX：04-7197-2075
URL：https://www.nsca-japan.or.jp　E-mail：nscajapan@nsca-japan.or.jp

申請結果のお知らせ

● 承認の場合

申込み完了から 2 週間～3 週間で、以下の 3 点の書類を E-mail でお送りします

① 承認書

承認書には、NSCA の資格認定者が取得できる CEU 数とプログラムに対する承認番号が記載されています。

② CEU 付与確認方法案内書

NSCA 資格認定者*（受講者、講師）へ CEU 付与の確認方法を案内する文書です。

*NSCA 資格認定者は、以下の 2 通り存在します。

- NSCA ジャパンで資格を管理している資格認定者
- 米国 NSCA 本部で資格を管理している資格認定者（以下、米国資格管理認定者）

③ CEU 付与対象者一覧表

NSCA 資格認定者の参加者を記載する名簿です。

● 非承認の場合

非承認のお知らせを E-mail にて通知します。非承認の場合においても、申請料金の返金はいたしません。ただし、非承認通知日より 4 週間以内に修正し承認された場合、新たに申請料金は必要ありません。ceu@nsca-japan.or.jp のメールを、必ず受け取れるようにしておいてください。

【補足】承認後のセミナー変更とセミナー中止について

セミナー変更の場合

承認済みのプロバイダーセミナーに変更（会場・日時・定員・講師・内容・演題など）があった場合は再申請となります。再申請には、申請書類と申請料金が再度必要となります。

セミナー中止の場合

承認後にプロバイダーセミナーが中止となった場合は、速やかに NSCA ジャパン事務局までご連絡ください。

特定非営利活動法人NSCAジャパン
〒270-0152 千葉県流山市前平井85　TEL：04-7197-2064　FAX：04-7197-2075
URL：https://www.nsca-japan.or.jp　E-mail：nscajapan@nsca-japan.or.jp

セミナー開催～終了後の手続きまで

I.　セミナー開催時の手続き

承認後に配布する「CEU 付与対象者一覧表」*に、NSCA 資格認定者の情報を必ず記載し、「CEU 付与確認方法案内書」を配布または口頭による周知をしてください。

*記入方法について、実際にお送りする CEU 付与対象一覧表内にある記入例を必ずご確認ください。

II.　セミナー終了後の手続き

該当者の有無やセミナー開催の可否に関わらず、**セミナー終了日から 2 週間以内に、**「CEU 付与対象者一覧表」を、NSCA ジャパン事務局に必ず到着するようにお送りください。

「CEU 付与対象者一覧表」に記載された内容をもとに、CEU を付与しています。記入漏れが無いようにお願いいたします。

継続教育活動分野

継続教育活動分野として NSCA が定めている分野は下記の通りです。ご参考ください。

① クライアントに対する面談と評価

- 初回面談
- 既往歴と健康評価
- 体力評価
- 基礎的な栄養調査

② テストと評価

- テストの信頼性および妥当性を最大限に高めるための適切なエビデンスに基づいたテストの選択
- 信頼性の高いデータ収集と安全なパフォーマンスを確保するためのテストの管理とモニタリングプロトコルおよび手順の実施
- テスト結果の評価と解釈

③ プログラムプランニング

- 目標設定
- プログラムデザイン
- トレーニングに対する適応
- 特別なクライアント

④ プログラムデザイン

- ニーズ分析
- 多様なトレーニング方法や様式の導入
- エクササイズの選択
- エクササイズの配列についての原則の適用
- エクササイズ強度（例：負荷、抵抗、心拍数）の決定と提供
- トレーニング量（セット数×レップ数）の決定と提供

- 運動 - 休息比、回復と無負荷、およびトレーニングの決定と提供
- エクササイズの漸進性の決定と提供（例：様式、強度、継続時間、頻度）
- ピリオダイゼーションモデルと概念、それらを適切に応用するための方法
- 受傷した選手に対する、リコンディショニング期間のプログラムの作成（例：関連する健康管理専門職と共同での急性傷害または慢性傷害、体調に応じたエクササイズの提供）

⑤ エクササイズサイエンス

- 筋の解剖学および生理学の知識の適用
- 神経筋の解剖学および生理学の知識の適用
- エクササイズの選択、実施およびスポーツパフォーマンスに関係するバイオメカニクスの基本原理の知識の適用
- 骨と結合組織（腱と靭帯）の解剖学および生理学の知識の適用
- 生体エネルギー論および代謝の知識の適用
- 神経内分泌生理学の知識の適用
- 心肺系の解剖学および生理学の知識の適用
- エクササイズとトレーニングに対する生理学的適応の知識の適用とリカバリー戦略の影響
- 選手の個人差に関する特別に考慮するべき知識の適用（例：年齢、性別、トレーニングステータス、競技や運動の特異性）
- エクササイズサイエンスに関する科学的研究や統計学の知識の適用

⑥ エクササイズテクニック

- エクササイズテクニックの評価（姿勢、動作スピード／コントロール、動作／可動域、漸進性、指示、筋の関与、呼吸、補助／安全性のガイドライン、機能的動作* を含む）
- マシーン・レジスタンスエクササイズ（例：プレート、ウェイトスタック、油圧、空気圧、摩擦、チューブ）
- フリーウェイトエクササイズ（例：バーベル、ダンベル）

- 柔軟性エクササイズ（例：静的、バリスティック、動的、PNF、アクティブアイソレイティッドストレッチング）
- 美容体操、自重エクササイズ（例：ヨガ、プルアップ、プッシュアップ、体幹エクササイズ）
- 競技特異的／パフォーマンス関連のエクササイズ（例：プライオメトリックス、スプリント、アジリティドリル、リアクション）
- 心臓血管系マシーン（例：トレッドミル、ステーショナリーバイク、ロウイングマシーン、ステアステッパー、エリプティカルトレーナー）
- マシーンを使用しない心臓血管系エクササイズ（例：ランニング、ウォーキング、水泳、エアロビックダンス）
- 代替トレーニング（例：タイヤフリップ、そり、サンドバッグ、ロープ、チェーン、スタビリティボール、ケトルベル、メディスンボール、レジスタンスバンド、バランス）
- 動作の準備（Movement Preparation）についての指導および評価（軟部組織、柔軟性／可動性、PNF、CNSプレップ、動的ストレッチング）
- レジスタンストレーニングのエクササイズテクニックについての指導および評価
- オリンピックウエイトリフティングおよびプライオメトリックエクササイズテクニックについての指導および評価
- スピード／スプリントテクニック（例：レジスティッドおよびアシスティッドスプリント、スピード筋力）についての指導および評価
- アジリティテクニック（例：前方、後方および側方への動作；ターン、トランジション、加速、減速）についての指導および評価
- エネルギー機構発達についての指導および評価
- リカバリーテクニックについての指導および評価（水治療、睡眠、水分補給、軟部組織、コンプレッション、静的ストレッチングエクササイズ）

⑦ 栄養学

- 健康とパフォーマンスに影響を及ぼす栄養学的要因の基礎知識の適用
- 最大限のパフォーマンスを引き出すための栄養学の基礎知識の適用

- 一般的な栄養補助食品、およびパフォーマンスを向上させる物質と方法についての効果、リスクおよび代替手段の基礎知識の適用

⑧ スポーツ心理学

- パフォーマンスのための心理学的基礎知識の適用
- 運動学習およびスキル習得テクニックの知識の適用（例：フィードバック、練習のコンディション、注意と集中、学習方法、指導方策、内的キューイングと外的キューイング）アスリートの心理的健康問題の指標の認識

⑨ 安全性、緊急時の手順、および法的諸問題

- 安全な手順
- 緊急時の対応
- 専門職としての法的、倫理的責任

⑩ 組織と運営

- 組織の環境
- ストレングス＆コンディショニング施設の運営に関連した方針と手順の決定（例：設備／機器の清掃とメンテナンス、規則、スケジュール作成、緊急措置）
- 専門的な実践
- 施設内でよくある、組織環境、物理的環境や、専門的な実践に関連する訴訟問題と法的責任のリスクを最小限に抑える方法の確認

【補足表】

承認される	承認されない
試験・検定	
―	・筆記、実技ともに認められない
心肺蘇生法（CPR)/自動体外式除細動器（AED)	
―	・NSCA では資格認定者に、CPR/AED の認定を常に保持していることを義務付けているため、継続教育活動の対象とはならない
医療（治療含む）分野	
・傷害や病気等の知識等を得るための講義 ・傷害予防をエクササイズやトレーニングと関連付けている内容の実技	・医療行為または法で認められた医療類似行為に関する実技 ・「痛みの改善」等の治療行為を思わしうる内容の実技
資格の有無	
・パーソナルトレーナーや S&C コーチが指導で実施する手段として一般的に認可されていて、資格の有無に関係なく指導現場で実施できるもの 例）チューブ、バランスボール、ストレッチポール等	・パーソナルトレーナーや S&C コーチが指導で実施する手段として一般的に認可されておらず、資格がなければ指導現場で実施できないもの

※「継続教育活動分野」に該当するものとして承認されたイベントに参加した NSCA 資格認定者には、CEU が付与されます。

・　受講者：「1 時間につき 0.1CEU：カテゴリーA、1 回の受講*につき最大 2.0CEU：カテゴリーA」

*受講とは、承認された 1 プログラムに対する受講を指します。詳しくは P8～P10 の「【プログラム数の数え方】」をご確認ください。

・　講師：「1 時間につき 1.0CEU：カテゴリーB、1 回につき最大 2.0CEU：カテゴリーB」

※同内容の録画映像のウェビナーを申請される場合、担当される講師への CEU 付与は 1 度のみとなります。

イベント内容が継続教育活動分野に該当するか判断がつかない場合は、NSCA ジャパン事務局 CEU 担当までお問い合わせください。